

1人でも多くの母と子が母乳で育てられる幸せを

'98 世界母乳週間

第7回

母乳育児シンポジウム

- ・ どう考える産後の疲労～エモーショナルサポート
- ・ 出生早期の課題—新生児の水分出納・体温異常・黄疸
低血糖・高ナトリウム血症と体重減少
- ・ お母さん方と医療者との会—Q & A および
交流会

1998年8月1～2日

ロイトン札幌

日本母乳の会

「母乳育児を成功させるための10カ条」

この10カ条は、お母さんが赤ちゃんを母乳で育てられるように、産科施設とそこで働く職員が実行すべきことを具体的に示したものです。



1. 母乳育児推進の方針を文書にして、すべての関係職員がいつでも確認できるようにしましょう。
2. この方針を実施するうえで必要な知識と技術をすべての関係職員に指導しましょう。



3. すべての妊婦さんに母乳で育てる利点とその方法を教えましょう。

4. お母さんを助けて、分娩後30分以内に赤ちゃんに母乳をあげられるようにしましょう。



5. 母乳の飲ませ方をお母さんに実際に指導しましょう。また、もし赤ちゃんをお母さんから離して収容しなければならぬ場合にも、お母さんに母乳の分泌維持の方法を教えましょう。



6. 医学的に必要でない限り、新生児には母乳以外の栄養や水分を与えないようにしましょう。
7. お母さんと赤ちゃんが一緒にいられるように、終日、母子同室を実施しましょう。



8. 赤ちゃんが欲しがるときは、いつでもお母さんが母乳を飲ませてあげられるようにしましょう。

9. 母乳で育てている赤ちゃんにゴムの乳首やおしゃぶりを与えないようにしましょう。



10. 母乳で育てるお母さんのための支援グループ作りを助け、お母さんが退院するときにこれらのグループを紹介しましょう。



ユニセフ(国連児童基金)とWHO(世界保健機関)は、1989年に「母乳育児の保護、促進、そして支援—産科施設の特別な役割」と題する共同声明を発表し、世界のすべての産科施設に対して「母乳育児を成功させるための10カ条」を守るよう呼び掛けた。また、1991年には、「10カ条」を完全に実施する産科施設を「赤ちゃんにやさしい病院」に認定する制度を設けた。この制度は、世界のすべてのお母さんを助けて赤ちゃんを母乳で育てられるようにすることによって、すべての赤ちゃんに等しく最善の人生のスタートをというユニセフとWHOの願いを表している。



主催/ユニセフ(国連児童基金) WHO(世界保健機関) 後援/厚生省 日本医師会

このポスターは厚生省、日本医師会の後援によって、ユニセフ駐日代表事務所が作成いたしました。'93年の「母乳をすすめるための産科医と小児科医の会」にて、配布キャンペーンを行い、会員を通して全国の医療機

関に配布されました。

さらに、都道府県の医師会を通して、産科施設をはじめ、関連施設の配布され、貼られております。

'98 世界母乳週間

第7回

母乳育児シンポジウム

記録集

日本母乳の会

1998年8月1日－2日

●母乳育児を成功させるのための10カ条

●産科医と小児科医へのメッセージ

山内逸郎

哺乳動物の掟 母乳権 医療者の意識改革
母乳育児成功のための必要条件(山内3.5カ条)
支援組織 誤解誤認 結語

第7回母乳育児シンポジウム記録集

[開会に当たって]

開会挨拶 メンターマは「出生早期の課題」「どう考える産後の疲労」…日本母乳の会運営委員長 橋本武夫

・メッセージ① 「赤ちゃんにやさしい病院」の普及を……………ユニセフ駐日代表事務所長 マンズール・アーメット

・メッセージ② 母乳栄養の推進を望む3つのスローガン……………厚生省児童家庭局母子保健課長 小田清一

・メッセージ③ 子育ての原点の母乳育児のサポートを……………北海道保健福祉部長 田村正秀

「赤ちゃんにやさしい病院(Baby Friendly Hospital)」認定式

1977年より人工乳廃止、母子同室、10カ条の実践へ ……札幌市・勤医協札幌病院 中井秀紀

山内逸郎先生との出会いが母乳育児の原点……………佐世保市・井上産婦人科 井上哲朗

母乳栄養から楽しい母乳育児へ……………堺市・岡村産婦人科医院 岡村博行

「母乳と赤ちゃんにやさしい」をモットーに取り組む…札幌市・聖母会天使病院 戸次英一

自然分娩、その流れとしての母乳育児を……………大分市・くまがい産婦人科 熊谷淳二

[第1部] 特別講演 I

タンチョウの生態系と環境破壊……………前専修大学北海道短期大学長 正富宏之

[第2部] 教育講演

環境問題と食

21世紀を担う子ども達を育てるために…帯広畜産大学生物資源化学科応用生命科学講座教授 中野益男

[第3部] ワークショップ

出生早期の課題

出生早期の問題提起……………岐阜県・高田医院 高田恭宏(産)

新生児の水分出納……………聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院周産期センター 堀内 勁(小)

体温異常（高体温と低体温） ……北見市・北見赤十字病院周産期センター 三河 誠（小）
黄疸について ……大阪市・淀川キリスト教病院小児科 船戸正久（小）
低血糖について ……国立岡山病院小児科 中村和恵（小）
高ナトリウム血症・体重減少 ……浜北市・石井第一産科婦人科クリニック 石井廣重（産）
総合討議

〔第4部〕 一般演題および各地の活動報告―①

積極的に乳管開通を妊娠37週より実施してみても ……横浜市・バースあおば 仲かよ 渡辺小児科 渡辺昭彦
真性陥没乳頭で母乳栄養確立させるためのケア ……北海道厚生連総合病院旭川厚生病院 渡辺恵
アトピー性皮膚炎と母乳育児に関する調査 ……国際認定ラクテーション・コンサルタント 本郷寛子
地方フォーラムでダイオキシン問題を取り上げた反響 ……東北大学小児科 堺 武男
出産直後からの母子同室に向けて(私達の実践を通して) ……和歌山市・かわばた産婦人科 清水恵子
母にやさしい母子同室を目指して
―出生直後からの母子同室のふりかえりと今後の問題 ……加古川市民病院産婦人科 森田満喜
当診療所での母子同室の実践について ……津市・津医療生協白塚診療所 山本理絵
完全母乳育児による母乳保育実施後の産婦の苦勞 ……甲府市・杉田産婦人科医院 杉田茂仁

〔第5部〕 シンポジウム

どう考える、産後の疲労―エモーショナルサポート―

基調講演 ……聖マリア病院母子総合医療センター 橋本武夫
産婦人科より ……朋佑会札幌産科婦人科 郷久弐二
助産婦より ……聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院周産期センター 飯田ゆみ子
保健婦より ……山口県光市保健センター 堺 加代子
母親の会より ……札幌母乳育児の会 片桐田鶴子
総合討議

〔第6部〕 一般演題および各地の活動報告―②

地域における乳房ケアの実践 ……札幌市・出産育児相談室エクボ 高室典子
ゆっくりとすすむ母と子にやさしい環境(II) ……弘前市・津軽保健生活共同組合健生病院産婦人科 高橋佳子
退院後のお母さんへ、母乳を推進するための支援方法の一考察
……………北見市・北見赤十字病院周産期センター 清水ミユキ

周産期センターにおける母乳育児支援 ……聖マリア病院母子総合医療センター 山本葉子
当院における母乳栄養推進の現状 ……千歳市立総合病院産科 渡辺幸子
初期の体重増加が少なくても、母乳栄養は継続できる ……厚生連総合病院旭川厚生病院 遠矢真紀
当院における母乳栄養確立に向けて ……札幌医科大学付属病院産科周産期科 吉野 綾
BFH(Baby Friendly Hospital・赤ちゃんにやさしい病院)を目指して…茨城県・宇津野医院 宇津野 博
当院における母乳育児について ……福岡市・森下産婦人科医院 森下哲哉

〔第7部〕 特別講演II

母乳と私の人生 ……日本小児科医会名誉会長 内藤寿七郎

〔第8部〕

お母さんと医療者との会—Q&A及び交流会—

- ・産後、心の不安定な母親達に対する医療者のサポートは？
- ・お母さん方は、ぜひとも、病院選びをしてください
- ・お母さん方は、まず、自分の意見を言うことが大切
- ・退院時の粉ミルクのおみやげは、ぜひ、やめてください
- ・何でも話してください。妊娠中の授乳、虫歯、添い寝など

交流会の感想

母親達の本音が聞けました ……函館中央病院小児科 山田 豊
時間が足りないくらいの交流会でした ……NTT札幌病院産婦人科 矢部 浄
おっぱいの情報が多くの人たちに伝わって欲しい ……札幌母乳育児の会 藤原真理子

閉会の挨拶 2日間で得た知恵、熱い思いを持ちかえって欲しい ……聖母会天使病院顧問 南部春生

〔資料〕

赤ちゃんにやさしい病院

子どもの権利に関する条約（抜粋）

母乳代替品に関する国際基準（WHO基準）

「母乳をすすめるための産科医と小児科医の会」から「日本母乳の会」へ

日本母乳の会会則

日本母乳の会入会申込書

母乳育児シンポジウム記録集申込書

編集/永山美千子 編集協力/片桐田鶴子 川谷和子 長友裕子 永山聡子 山本みゆき